

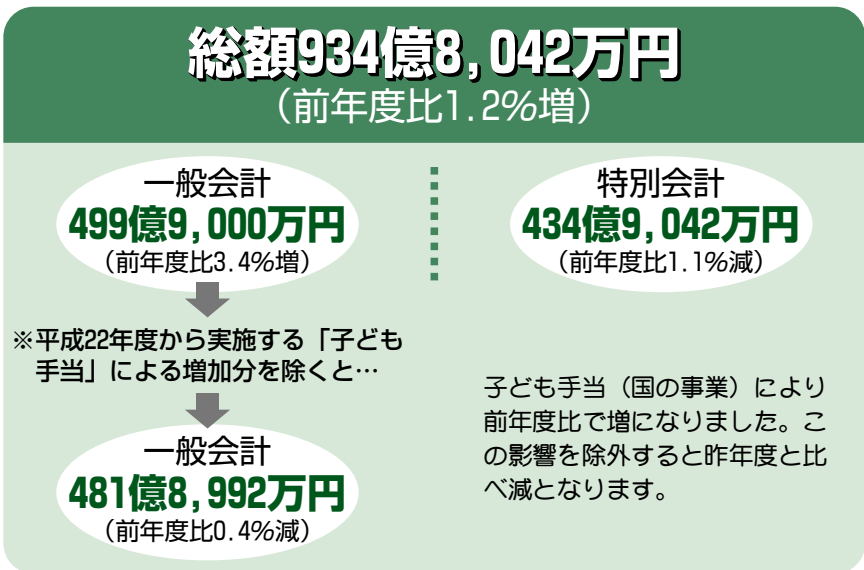


紙面から

- 特集  
平成22年度予算を公表…………… 1・2
- お知らせ  
保留地・市有地を公売…………… 2
- お知らせ  
ひのっ子すくすくプランを策定…………… 5
- お知らせ  
選べる学校制度のご案内…………… 6
- お知らせ  
ひの新選組まつり…………… 8

# 公民協働～まちの将来を見据えて 平成22年度予算を公表

まちの将来を見据えて、持続可能な発展が可能となるよう事業の必要性及び有効性、妥当性や費用対効果も含めた総合評価によって、事業の見直し、再構築を積極的に図り、厳しい財政状況に立ち向かう予算を編成しました。(財政課)



- ### 平成22年度予算のポイント
- 子どもの安全な学習環境を整備します(学校屋内運動場(7校)、保育園の耐震補強工事、及び児童館の大規模改修工事など)
  - 高齢者や障害者にきめ細かな支援を行います((仮称)発達支援センター開設準備、豊田駅及び京王線3駅のバリアフリー化など)
  - 保育園待機児ゼロを目指し、市内保育園の充実を図ります(民間保育園の開設、たまだいら保育園の本設工事など)

## 歳出額を市民1人あたりに換算すると… 1人あたり28万6,357円

<b>民生費</b> 13万104円 高齢者や障害者に対する社会福祉、児童福祉や生活保護のための費用	<b>教育費</b> 3万9,393円 小・中学校教育、社会教育、市民会館、公民館活動などの費用	<b>総務費</b> 3万205円 庁舎管理、徴税、統計、選挙事務や戸籍、住民登録などに必要な費用
<b>衛生費</b> 2万4,059円 ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用	<b>土木費</b> 2万5,053円 道路の新設・維持管理や公園整備、市営住宅の維持管理などの費用	<b>公債費</b> 1万8,926円 市債(市の借入れたお金)の返済のための費用
<b>消防費</b> 1万2,492円 消防活動、災害対策などの費用	<b>その他</b> 6,125円 市議会運営、労働、農業、商工振興などのための費用	※歳出額は一般会計のもの ※市民1人当たりの金額は平成22年4月1日現在の人口174,572人で算出

- 1 ともに創る参画と協働のまち**…………… 16億4,494万円
  - 第5次日野市基本構想・基本計画「(仮称)2020プラン」の策定
  - 第4次日野市行財政改革大綱・実施計画の策定
  - 寄付財源を活用する公民協働事業の実施(市民・行政コラボレーション事業)
  - 市立病院改革プランの推進
- 2 ずっとこのまちで生きる～健康・福祉施策の充実**…………… 13億3,901万円
  - 特別養護老人ホーム待機者の解消対策に向けた取り組み
  - (仮称)発達支援センター開設に向けた準備
  - (仮称)市民の森ふれあいホールの建設工事
- 3 安全安心な子どもの学び・子どもと子育て世代が輝くまちづくり**…………… 72億4,972万円
  - 保育園待機児ゼロを目指し、民間保育園2園を開設(芝原保育園、栄光豊田駅前保育園)
  - たまだいら保育園の本設工事
  - 「そだちあい事業」の充実
  - 学校(校舎・屋内運動場)、保育園の耐震補強工事
  - 三中をより魅力ある学校にするプロジェクトの実施
- 4 快適で安全に暮らせるまちづくり**…………… 64億7,945万円
  - 市内各所の生活道路改良工事
  - あんしん生活総合相談事業・緊急雇用創出事業の実施
  - 緊急通信システム(地域防災行政無線)のデジタル化
  - 豊田駅及び京王線3駅(百草園駅、南平駅、平山城址公園駅)のバリアフリー化工事
- 5 ともに進める環境にやさしいまち**…………… 9,062万円
  - ごみゼロ運動事業(容器包装お返し大作戦など)
  - ふだん着でCO<sub>2</sub>をへらそう事業の実施

**折り合いをつける**

最近の日本、「ぎすぎす」しすぎていると思う。誰も自分だけが正しいと考えて主張し、相手をけなす。民主主義だから当然だといふわけだ。

でも事を進めるには、方向なり方法を絞らなければならぬ。考えの異なる人が集まったとしても、まず主張する。そのままではかどらない。そこでお互いの主張を聴く。歩み寄る努力だ。時間がかかるし気骨が折れる。自分の考えを修正し、譲り合えば落とし所が見つかる。さすれば事は進む。政治だって同じだと思う。

最近の国政は「とんがり」過ぎているか。わが日本の歴史を思い返してみよう。

まず、日本人の心情に刷り込まれている「宗教的寛容」だ。年中行事を考えてみる。初詣は神社で彼岸にはお寺。結婚式は教会でも実りの秋には神輿。年の瀬にはクリスマス、といった具合。イスラムの風習こそないけれど、議論もせずに宗教的慣習を折り合いつけて対応しているではないか。

そもそも日本語がそうだ。外来語としての漢字に添えて大和ことばを生かした。「漢字カナ交じり文」なんて文章の作り方、世界のどこにもないはずだ。欧米語にしても、同じ文章の中で大和ことばと見事に折り合っている。

日本人ほど生活の中で、折り合いのつけ方が上手な国民はないと思う。だったら国政でも発揮してほしい。寛容と融和である。厳しい不況に喘ぐ今の日本。折り合いをつけ、ひとまず先に進むのではないか。さもないと、アジアの発展に後れをとるぞ。